

第22回(2019年度)

七十七
ビジネス
大賞

株式会社深松組



代表取締役社長
深松 努氏

●企業の概要

企業名：株式会社深松組

代表者：代表取締役社長 深松 努

住所：宮城県仙台市青葉区北山1丁目
2-15

設立年：1953年（創業 1925年）

業種：総合建設業、不動産賃貸・取引業

資本金：93百万円

従業員数：122名

●事業の概要

当社は1925年創業の歴史ある総合建設業であり、長年にわたり地元宮城県を中心に土木・建築工事を数多く実施しているほか、不動産賃貸業や再生可能エネルギー事業、海外でのサービスアパートメント事業、沖縄県におけるリゾート事業など、社会課題や震災復興需要減退後の建設分野の落込みを見据えた幅広い事業を展開。



本社



河川工事

積極的な事業多角化と長年にわたる地域経済への貢献により、 地域にとって本当に必要とされる総合建設業を目指す



海外事業（賃貸マンション完成予定図）



沖縄開発事業



再生可能エネルギー事業

●受賞の理由

当社の事業拠点は宮城県の本社のほか、富山県、新潟県に営業所を構え、東北地方を中心に活動している。地元宮城県における当社の土木・建築工事実績は数多く、河川工事や橋梁工事、公共施設建設など多岐にわたり、地域の社会資本整備の発展に尽力してきた。事業の多角化として、再生可能エネルギー事業やリゾート施設賃貸業、海外でのアパートメント事業など幅広い事業を展開しているほか、環境保全活動や地域防災パトロールなどの社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。「地域にとって本当に必要とされる企業」を目指し、時代の変遷とともに、将来を見据えた事業展開は高く評価できる。

東日本大震災の際には、がれき撤去のほか、道路・堤防等のインフラや公共・民間建築物の復旧に率先して取り組んだほか、経営者自身が、震災の実体験や復興需要の現状などの講演を数多く行っており、防災意識の醸成に大きく貢献した。近年では、被災沿岸部の再生と交流人口拡大を目指す目的として、仙台市が進める震災復興事業である「仙台市東部沿岸部の集団移転跡地の利活用事業者」に参画、若林区藤塚地区において複合温泉施設「アクアイグニス仙台」の計画を進めており、被災地域に対する貢献度は大きい。

また今後の震災復興需要減退を見据え、沖縄でのリゾートホテル事業を展開。沖縄伊良部島近隣では、空港旅客ターミナルの開業で観光客数の増加が期待されており、建設業の人手不足も続くことから、東北からの人材を送り込むなど、震災復興需要が落ち着いた後の地域の雇用の確保にもつながるものと期待されている。

土木、建築、不動産賃貸、自然エネルギー、海外事業、農業の6つの事業への多角化は、これからの修繕維持時代を乗り越えるための取組みであり、より高度な視点で社会地域への責務を果たしていくものである。当社の長年にわたる地域経済への貢献と、時代のニーズに即した積極的な事業展開は、県内を代表する総合建設業として今後更なる成長・発展が期待される。